

CT（造影）検査 説明書 兼 同意書

1. 実施予定の検査とその内容

(1) 検査目的

造影剤を用いることにより、病気の状態がより正確に把握でき、今後の治療に役立てることが出来ます。安全な薬ですが、稀に副作用を生じることがございますので、以下の項目をよくお読みください。

(2) 使用する CT 造影剤名：ヨード製剤

診断にあたり、情報量を増やすために画像にコントラストをつける検査用薬剤です。

(3) 検査予約日：_____年_____月_____日

（検査予約の 15 分前までに放射線受付をすませてください）

(4) 検査前の飲食について

食事：検査前 3 時間以内の食事や乳製品（牛乳など）は禁止

飲水：造影剤を使用するので、検査前に水、お茶類で水分補給を行ってください。

検査後は、造影剤が尿より排泄されます。水分摂取制限のない方は、検査後もしっかりと水分を取ってください。

(5) 検査スケジュール

通常、静脈注射で造影検査を行います。検査時間は 10 分程度です。

(6) 確認事項

検査当日に CT 造影検査問診票を持参してください。

2. その検査の危険度

(1) 造影剤の副作用

CT 用造影剤（ヨード製剤）の副作用には次のようなものがあります。

① 軽い副作用（約 100 人に 1 人以下：0.6%未満）

嘔気、嘔吐、熱感、動悸、頭痛、かゆみ、発疹など。基本的には治療を要しません。

② 重い副作用（極めて稀、10000 人に 1 人：0.01%）

失神、呼吸困難、血圧低下、意識障害、心停止など。治療や入院が必要となることもあります。

③ 極めて稀に、死に至る危険性のある合併症を併発する場合があります。

(10 万人～20 万人に 1 人：0.005～0.001%)

(2) その他

造影剤を注入する際、血管の外に薬剤が漏れることがあります。この場合、注射部位が腫れて痛みを伴うことがありますが、基本的には時間が経過すれば吸収されますので、心配ありません。もれた量が非常に多い場合には、別の処置を要することもあります。それは非常に稀です。

(3) 副作用の危険性が高い方

CT 造影剤使用で、特定の疾患がある、またはアレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が高いと言われています。次に該当する方は、造影検査の前に主治医と相談してください。

- ① 以前に MRI または CT 造影剤で具合が悪くなった方
- ② 気管支喘息やアレルギー体質と診断されている、または診断された方
- ③ 甲状腺疾患がある方
- ④ 多発性骨髄腫と診断されている方
- ⑤ 褐色細胞腫と診断されている方
- ⑥ 重い腎臓の機能低下がある、あるいは腎臓の病気があると診断された方
- ⑦ ビグアナイド系糖尿病薬を服用している方
- ⑧ 妊娠中である、若しくは妊娠の可能性がある方（胎児への影響は不明）
- ⑨ 授乳中の方（造影剤使用後 24 時間は授乳をさけてください）

※上記①～⑨に該当する方は原則造影剤の検査は行わないことになっていますが、患者さんの治療上必要と主治医が判断した場合には造影剤を使用することがあります。なお、患者さんが造影剤の使用に同意されている場合であっても、検査を担当する放射線科医師の判断で造影剤を使用しない場合もありますのでご了承ください。

(4) 緊急時の対応

検査中は、CT 検査室には常に看護師と診療放射線技師がおり、近室に放射線科医師が待機しています。万が一、副作用が生じた場合には迅速に対処いたします。

予期せぬ事態に対しては、放射線科医師と主治医が最善の対処をいたします。

3. 代替可能な検査とその利害得失

検査の診断内容が低下する可能性はありますが、造影剤を用いない CT 検査を受けることが可能ですので、あらかじめ検査前に主治医にご相談ください。

4. その他

入院中に同じ検査を繰り返し行う場合は、入院最初の同意書以降、最初にいただいた同意書を有効とします。

5. 署名後、同意撤回の自由

以上の内容を十分理解し、納得された上で同意書に署名をお願いいたします。また、同意した後でも、随時撤回することができます。

サイン欄

上記のCT（造影）検査について、その目的、必要性、方法、合併症また、起こり得る危険性やその後遺症などについて説明を行いました。

20 年 月 日 説明医師（署名）
同席者（署名）

済生会横浜市東部病院 院長殿

私は、上記内容に従ってCT（造影）検査に対する説明を受け、その実施に同意します。また、実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合は、適宜必要な処置を受けることを了承します。

20 年 月 日 患者本人（署名）
親権者又は代理人（署名）

（患者との続柄）

CT（造影）検査 説明書 兼 同意書

1. 実施予定の検査とその内容

(1) 検査目的

造影剤を用いることにより、病気の状態がより正確に把握でき、今後の治療に役立てることが出来ます。安全な薬ですが、稀に副作用を生じることがございますので、以下の項目をよくお読みください。

(2) 使用する CT 造影剤名：ヨード製剤

診断にあたり、情報量を増やすために画像にコントラストをつける検査用薬剤です。

(3) 検査予約日：_____年 _____月 _____日

（検査予約の 15 分前までに放射線受付をすませてください）

(4) 検査前の飲食について

食事：検査前 3 時間以内の食事や乳製品（牛乳など）は禁止

飲水：造影剤を使用するので、検査前に水、お茶類で水分補給を行ってください。

検査後は、造影剤が尿より排泄されます。水分摂取制限のない方は、検査後もしっかり水分を取ってください。

(5) 検査スケジュール

通常、静脈注射で造影検査を行います。検査時間は 10 分程度です。

(6) 確認事項

検査当日に CT 造影検査問診票を持参してください。

2. その検査の危険度

(1) 造影剤の副作用

CT 用造影剤（ヨード製剤）の副作用には次のようなものがあります。

① 軽い副作用（約 100 人に 1 人以下：0.6%未満）

嘔気、嘔吐、熱感、動悸、頭痛、かゆみ、発疹など。基本的には治療を要しません。

② 重い副作用（極めて稀、10000 人に 1 人：0.01%）

失神、呼吸困難、血圧低下、意識障害、心停止など。治療や入院が必要となることもあります。

③ 極めて稀に、死に至る危険性のある合併症を併発する場合があります。

(10 万人～20 万人に 1 人：0.005～0.001%)

(2) その他

造影剤を注入する際、血管の外に薬剤が漏れることがあります。この場合、注射部位が腫れて痛みを伴うことがあります。基本的には時間が経過すれば吸収されますので、心配ありません。もれた量が非常に多い場合には、別の処置を要することもあります。それは非常に稀です。

(3) 副作用の危険性が高い方

CT 造影剤使用で、特定の疾患がある、またはアレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が高いと言われています。次に該当する方は、造影検査の前に主治医と相談してください。

- ① 以前に MRI または CT 造影剤で具合が悪くなった方
- ② 気管支喘息やアレルギー体質と診断されている、または診断された方
- ③ 甲状腺疾患がある方
- ④ 多発性骨髄腫と診断されている方
- ⑤ 褐色細胞腫と診断されている方
- ⑥ 重い腎臓の機能低下がある、あるいは腎臓の病気があると診断された方
- ⑦ ビグアナイド系糖尿病薬を服用している方
- ⑧ 妊娠中である、若しくは妊娠の可能性がある方（胎児への影響は不明）
- ⑨ 授乳中の方（造影剤使用後 24 時間は授乳をさけてください）

※上記①～⑨に該当する方は原則造影剤の検査は行わないことになっていますが、患者さんの治療上必要と主治医が判断した場合には造影剤を使用することがあります。なお、患者さんが造影剤の使用に同意されている場合であっても、検査を担当する放射線科医師の判断で造影剤を使用しない場合もありますのでご了承ください。

(4) 緊急時の対応

検査中は、CT 検査室には常に看護師と診療放射線技師がおり、近室に放射線科医師が待機しています。万が一、副作用が生じた場合には迅速に対処いたします。

予期せぬ事態に対しては、放射線科医師と主治医が最善の対処をいたします。

3. 代替可能な検査とその利害得失

検査の診断内容が低下する可能性はありますが、造影剤を用いない CT 検査を受けることが可能ですので、あらかじめ検査前に主治医にご相談ください。

4. その他

入院中に同じ検査を繰り返し行う場合は、入院最初の同意書以降、最初にいただいた同意書を有効とします。

5. 署名後、同意撤回の自由

以上の内容を十分理解し、納得された上で同意書に署名をお願いいたします。また、同意した後でも、随時撤回することができます。

サイン欄

上記のCT（造影）検査について、その目的、必要性、方法、合併症また、起こり得る危険性やその後遺症などについて説明を行いました。

20 年 月 日 説明医師（署名）
同席者（署名）

済生会横浜市東部病院 院長殿

私は、上記内容に従ってCT（造影）検査に対する説明を受け、その実施に同意します。また、実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合は、適宜必要な処置を受けることを了承します。

20 年 月 日 患者本人（署名）
親権者又は代理人（署名）

（患者との続柄）